

2024年度4月入学金沢大学大学院法学研究科（修士課程）

第2期募集 学力検査問題解答例・出題意図

専攻名 法学・政治学専攻 選抜区分 一般 外国人 社会人

科目名 知的財産法 記載者氏名 _____

解答例又は出題意図

【別紙の添付又はデータによる提出の場合は、その旨を記載願います。】

出題意図

生成 AI の実用化により、人工頭脳が一般人にも使用可能となり、それに伴い、これまでにない新しい法律問題が顕在化しました。

生成 AI が文章作成や画像作成に利用（ないし応用）可能なため、文章や画像という著作物保護の対象となりうる物の保護について、既存の議論では対応が不十分な点が指摘され議論されるようになりました。

また、AI の開発が重要な競争対象になったため、AI 技術をどのように保護すべきか、また、保護可能かという点で、特許法では不十分な、AI がデータを活用して学習して機能を高める構造に注目が集まりました。この観点では、AI 技術の効果的な保護のためには、データ保護法のような考え方が必要なのではないかとの議論もなされています。

その他、現在実用化されており、一般人に馴染みのある AI は生成 AI であり、これらは、主にインターネット上の情報を活用し、AI 利用者の求める結果を作成（ないし抽出）しているため、インターネット上の情報に対する権利者が AI の無制限のアクセスについては問題視しています。

これらの問題について、単に、個々の事例を法律問題として認識するにとどまらず、社会を大きく変動させるであろう新技術と社会全体の関わりの中で知的財産が果たす役割を見据える能力、及び知的財産法全体の中で、個別の問題がどの法制度と関連するのを見極める能力を試すことが、出題の意図です。

したがって、解答者には、上記問題のうち少なくとも3つを挙げ、AI をとりまく社会状況と関連させながら、個々の問題の位置づけを明確にすることが求められます。